

# 令和4年度 第3回 運営推進会議

## 議事録

小規模多機能施設 ゆい青葉  
グループホーム ゆい青葉

日時：令和4年11月15日（火）16時00分～17時00分  
場所：オンライン開催

### 1. 開会の挨拶

新規ご出席者ご紹介

### 2. グループホーム ゆい青葉

#### <活動状況報告> 添付資料参照

《家族より》

コロナ禍でなかなか面会に行けないが、楽しい行事を行っていることを拝見でき母も楽しく過ごせていると思う。先日、母が体調を崩したが、連携医療機関や家族への連絡など迅速に行い、管理者の方もお休みのところに駆けつけていただき大変感謝している。

《地域支援団体より》

誤薬については、目薬なら「目」とか内服薬なら「内」など、大きくシールを貼るとよい。はっきり誰でもわかるようにすればよいと思う。

《歯科医より》

キザミ食は誤嚥を防止するための嚥下食ではない。何らかの理由で一時的に嚥めない人に提供するのがキザミ食。キザミ食は刻まれてパラパラになっているため、食べにくく、嚥下困難者に出すものではない。間違って解釈されている。

数年前の裁判で、施設が嚥下困難者にキザミ食を提供し誤嚥性肺炎で亡くなり、家族から訴えられ施設が負けたというケースがある。

「嚥下困難者にキザミ食を出すことは間違っている」と裁判で認められているので今一度、見直してもらいたい。

在宅ですべてトロミ食を作るのは大変なので、一口サイズ、ティースプーン一杯でまとまるようにトロミ水をかけてあげると即席あんかけ風となり食べやすくなる。

### 3. 小規模多機能施設 ゆい青葉

#### <活動状況報告> 添付資料参照

《地域支援団体より》

限られた空間の中でよくイベントを行っていると思う。すべての職員が情報を共有することは難しいが、イベント報告でもわかるように楽しい雰囲気が伝わってくるのでスタッフの気持ちに通じ合っているのではないかと思います。

(裏面に続く)

## <外部評価まとめ> 添付資料参照

### A. 事業所自己評価の確認

《包括より》

全員が一か所に集まって情報を共有することは難しい。  
ゆいに限らず私たちケアプラザもそうなので、どういった工夫ができるのかが課題。

### B. 事業所のしつらえ・環境

《薬局より》

居室まで入る機会はありませんが、スタッフはいつも笑顔で楽しそうにしている。環境については明るくて良いと思う。季節毎に変えている玄関の飾り付けも楽しませてもらっている。

### D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

《包括より》

包括でもイベントがやりたくてもコロナ禍でなかなかできない。早く収束し以前のように地域の方々と交流ができるようになれるよう願っている。そのような中で、「利用者以外のご近所の方の心配な方に事業所は関わっているか」の項目が UP しているのはすごいと思う。

《包括より》

この会議のように多職種の方々と連携することがとても重要だと思う。

《地区社協より》

以前と比べて評価項目が、地域との関わりに対する項目が増えてきたように感じる。事業所の中で目標を決めて活動をし、他職種とも連携を取りながら、職員一人ひとりが取組んでいる姿勢が感じられる。

## 4. その他

《自治会より》

先日行った避難訓練 171 名の参加があった。スーパーボールすくいを行い親子で楽しんでもらった。また来年も行うのでこれからも地域との繋がりを続けていきたい。

《横浜市 健康福祉局 介護事業指導課より》

12/9 と 1/20 に民有地活用セミナーを開催する。

青葉区はまだまだ地域密着型施設が少ない地域のため、土地所有者で地域に貢献したいという方がいればぜひ紹介してほしい。

## 5. 閉会の挨拶

### 【今後の予定】

<介護・医療連携推進会議>

令和5年2月14日(火) 16時00分～(予定) (開催方法:未定)